

# 渡辺大三 NEWS



●発行 市議会会派 リベラル保守の会 ●編集 情報公開こがねい / 渡辺大三事務所  
〒184-0012 小金井市中町 3-25-10-201 電話 090-3345-6929 FAX 042-381-5074  
watanabedaizou@gmail.com <https://twitter.com/watanabedaizou/>

## 市長、「市民検討委員会を設置」との約束破る

### 福社会館の移転・建て替え問題 市議会には陳情書が殺到

いつもお世話になりありがとうございます。今月の市議会 NEWS をお配りしております。お忙しいと思いますが、御一読いただければ幸いです。

前号でもお伝えした「福社会館の移転・建て替え問題」は、稲葉市長の「大地震で倒壊の危険性が指摘されている高層マンションの隣地への単独建て替え案」に反発する市民からの陳情書が議会に殺到し、第一回定例議会(2/23~3/23)の最大の争点になっています。

何が問題なのか…。少し論点を整理して皆様にお伝えします。

【論点1】耐震上の深刻な問題を抱えた現在の福社会館を、さらに3年以上も使い続けるとの、稲葉市長案は妥当か?。一刻も早く、安全な建物に「仮移転」させるべきではないか?。

【論点2】稲葉市長は、2011年3月2日の市議会厚生文教委員会で、福社会館の移転・建て替えについて「市民検討委員会の設置」を市民や議会に約束していた。しかし、設置しないまま、勝手に移転先や建設方法を決めた。嘘を平気につく手法は妥当か?。市民検討委員会を設置すべきではないのか?。

【論点3】稲葉市長は、2014年3月に「公共施設マネジメント」の基本原則を定めた。今後の公共施設整備に関しては、「多機能複合化」「民間活力の積極導入」「市有資産の売却等」でコストダウンを図ることとしている。しかし、福社会館の移転・建て替えでは、それらの原則を無視し、多機能複合化には逆行、民間活力の積極導入にはそのチャンスがあるのに検討もせず、市有資産の売却等もまったく検討していない。結果として、非常にコストパフォーマンスの悪い計画となっている。多摩26市でワースト1位の財政なのに、こんな財政圧迫の内容でいいのか?。

(裏面に続く)

## 市庁舎問題

稲葉市長の新年度予算は…  
建設元金の積み立て ゼロ  
基本設計予算の計上 なし

3月1日の「日曜議会」で、私は、市庁舎建設問題について質疑しました。

稲葉市長が編成した新年度予算の特徴は、(1)新庁舎建設に向けた基金(元金)の積み立てがゼロ円で、財政運営上の計画性がない。(2)本年度予算には計上されていた新庁舎建設の基本設計予算が全額削除され、やる気がまったく感じられない、の2点が特徴となっています。

稲葉市長は、新庁舎建設に向けて「あらゆる方策を検討」としていますが、何を検討しているのか提出を求めたところ、何も出せるものはない…という驚くべき返答でした。つまり、市民には「あらゆる方策を検討」と言いながら、中身は「空っぽ」ということです。

これ以上の無責任な対応は許されません。

【論点 4】稲葉市長が移転先に決めた本町 6 丁目の市有地は、東側に隣接する高層マンションが老朽化し、耐震上の深刻な問題を抱え、大地震の際には、6 階から 10 階部分が東西方向に倒壊・崩落の危険性がある。その危険性を除去できる見通しもないまま、そこに福祉会館を建てることは妥当か？。

【論点 5】当該隣接マンションの管理組合法人は、耐震補強工事が困難なため、自らの敷地と市有地を統合しての合同建て替え事業を市に提案している。その場合、市は市有地相当分の床面積(現在の福祉会館の床面積より広い面積)を権利床として無償で取得できるとされる。また、大地震の際の緊急輸送道路に面している当該マンションが耐震上の問題のない建物に生まれ変わるメリットもある。また、市の資産税収も増え、市民サービスの財源が生まれる。なぜ、稲葉市長は、このマンション管理組合法人の案をまったく検討しないのか？。

【論点 6】稲葉市長は、福祉会館の設計業務を、競争原理を作用させず、ある大学の研究室に「一者随意契約」的に発注する方針である。担当職員に背景を聞いたところ、当初は競争原理が作用するプロポーザル方式(複数者に提案をもらい、優秀な提案を採用する方式)での業者選考を考え、この研究室の先生に、選考委員への就任をお願いに行ったとのことである。ところが、「いろいろ」話している内に、「どちらからともなく」話をもちかけ、その先生の研究室に「一者随意契約」的に発注することが決まったとのこと。呆れて物も言えない、極めて不透明なプロセス。本来であれば、複数の者に競争させ、最も良い内容の者に発注すべき。この研究室の先生は、先生であると同時に、設計事務所も経営しているとのこと。つまり、業者さんの顔も併せ持っている。小金井市は、原則として、競争原理が作用しない発注は認めていないのに、一者でいいのか？。なにか癒着でもあるのか？。

## 市民検討委員会設置条例案を議員提案

上記の他にも、現在の福祉会館に入居している公民館本館をどうするのか、福祉会館の建設費の総額(概算)を想定しないまま設計を発注するのは妥当か、市民要望の多い子育て支援施設は入れないのか、など多くの論点があります。

安全で、安心で、便利で、コストパフォーマンスに優れた福祉会館を建設するためには、専門家を交えた市民参加での検討が不可欠です。

市民の方々からも市民検討委員会の設置を求める陳情書が複数提出されています。

そこで私は、「小金井市福祉会館建設基本計画策定市民検討委員会設置条例案」を起草。他会派にも共同提案を呼びかけ、3月5日の本会議にて条例案を提案します。

この条例案は、3月23日の本会議で、議長を除く23議員により採決に付される予定です。可決をめざしてがんばりたいと思います。

## 渡辺大三の自己紹介

◎1966(昭和41)年、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市・宮城県仙台市・山形県山形市を経て、小学校3年生のときに小金井市に転入。◎小金井市立本町小学校・小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部政治学科卒業。

◎株式会社河北新報社(本社=仙台市)に新聞記者として就職、編集局配属。同社退職後、小金井市に戻り地元衆議院議員の私設秘書を2年間務める。

◎1993(平成5)年、26歳で小金井市議会議員選挙に初当選。以降、6期連続当選(直近3回の選挙は無所属で立候補し当選)。現在に至る。

◎現在=議会関係では、議会運営委員、総務企画委員、行財政改革調査特別委員、議会報編集委員、十一市競輪事業組合議会議員、六市競艇事業組合議会議員、所属会派「リベラル保守の会」副幹事長、を務める。地域では、小金井市商工会参与、小金井市商工会総代、貫井北町商工振興会事務局長、中町親愛会相談役、中央大学学員会(同窓会)小金井支部幹事、東京都立小金井北高等学校同窓会幹事長などを務める。政治関係では、地域政党「リベラル保守の会」事務局長、地域政党「自由を守る会」事務局長、「情報公開がねい」共同代表を兼務。

◎趣味=ダイエットと適度な筋トレ、フルート(超初心者です)、カラオケ、愛犬ロクスケ♂との散歩、料理。◎身長=179cm 体重=68kg前後を変動中。

## リベラル保守の会 会員募集中

小金井を変える地域政党「リベラル保守の会」では、会員を募集しております。

年会費は1000円です。

ご入会いただいた皆様には、定期的にニュースをお送りし、また、市政報告会や各種催事のご案内をいたします。

お申込み、お問い合わせ、ご意見ご要望は、下記メールアドレスまでお気軽に。

watanabedaizou@gmail.com